

6 情報科目

授業の概要

コンピュータ等を取り扱う能力だけでなく、事象を的確に認識すると共に課題を発見し、その解決にICT（Information and Communication Technology）を活用できる能力の育成を目指す。

前期に、全員が必修となる「情報リテラシー実践Ⅰ」を提供する。ツールとしてICTを活用し、具体的な課題解決に取り組む。学部・学科によっては、表計算ソフトの発展的利用として、基礎的な統計分析に取り組む「情報リテラシー実践ⅠA」を指定することがある。（情報リテラシー実践Ⅰ、ⅠAのうち、学部・学科が指定する一科目が必修科目であり、その他の一科目は履修することができない。）

後期に、「情報リテラシー実践Ⅰ」または「情報リテラシー実践ⅠA」で習得したICT活用の基礎的な知識や技能を、実践的な課題解決に応用する「情報リテラシー実践ⅡA」、「情報リテラシー実践ⅡB」、「情報リテラシー実践ⅡC」を提供する。これらは選択科目である。

○「情報リテラシー実践Ⅰ」（前期 2単位 必修）

ツールとしてICTを活用し、情報の収集、分析、判断、編集、発信、共有などの情報活用に関わる能力の向上を目指す。情報機器の使い方や情報倫理についてを学ぶだけでなく、具体的な課題解決を行う。

○「情報リテラシー実践ⅠA」（前期 2単位 必修）

基本的な情報活用に関わる能力の向上を目指すと共に、統計学の基礎を理解し、表計算ソフトを利用したデータ分析に取り組む。

○「情報リテラシー実践ⅡA」（後期 2単位 選択）

実践的な課題を通して、統計学の基礎にもとづくデータ分析と、データベースの活用に取り組む。

※ 統計解析ソフトウェア「JMP」を主に使用するが、一部のクラスでは「R」を導入予定のため、履修の方法と併せて教務課A掲示板の掲示を確認すること。

○「情報リテラシー実践ⅡB」（後期 2単位 選択）

プログラム言語の基本的な文法を学び、プログラムの作成と読解に取り組む。また、プログラムの構成方法を理解し、具体的な問題解決を実践する。

※ クラスによって、Java、Python、C言語のいずれか一つを用いるため、履修の方法と併せて教務課A掲示板の掲示を確認すること。

○「情報リテラシー実践ⅡC」（後期 2単位 選択）

画像・音・映像等に関する基礎知識を学び、作成および活用に取り組む。

※ 無償で利用できるオープンソース・フリーソフトウェアを活用するが、一部のクラスでは「Adobe Photoshop CC（ペイント系画像処理ソフトウェア）」「Adobe Illustrator CC（ドロー系画像処理ソフトウェア）」「Adobe Audition CC（音声処理ソフトウェア）」を導入予定のため、履修の方法と併せて教務課A掲示板の掲示を確認すること。

履修申請方法

前期の「情報リテラシー実践Ⅰ（又はⅠA）」は、全員が履修する科目である。再履修を除いて、履修申請の必要はない。再履修クラスの申請時期・方法については、南大沢キャンパス1号館教務課A掲示板の掲示を確認すること。

後期の「情報リテラシー実践ⅡA」、「情報リテラシー実践ⅡB」、「情報リテラシー実践ⅡC」については、選択科目のため履修申請の手続きが必要となる。申請時期・方法については、南大沢キャンパス1号館教務課A掲示板の掲示を確認すること。

クラス編成

「情報リテラシー実践Ⅰ（又はⅠA）」は、全員が履修する科目であり、再履修クラスを除き、学部・学科別のクラス編成となる。新入生の指定クラスについては、授業開始前に発表する。

情報リテラシー実践Ⅰ・ⅠA クラス編成表

対象学部	クラス番号	授業科目
人 文 社 会 学 部	10番台	I
法 学 部	20番台	I
経 済 経 営 学 部	30番台	I A
理 学 部	40番台	I
都 市 環 境 学 部	50番台	I
システムデザイン学部	60番台	I
健 康 福 祉 学 部	70番台	I（看護はⅠA）
再履修クラス（※）	80・90番台	I・ⅠA

※学部ごとのクラス指定なし

後期の「情報リテラシー実践ⅡA」、「情報リテラシー実践ⅡB」、「情報リテラシー実践ⅡC」については、選択科目のため、学部・学科別のクラス編成は行わない。